



手稲区区制20周年記念モザイク画制作チーム

▲手稲山のモザイク画
(幅9m高さ2.7m)



リーダーの
伊藤 千恵さん



宮吉 晃大さん



對馬 久美さん



渡部 謙介さん



▲打ち合わせ中
「こんな感じかな？」



▲北海道工業大学
くどう まさゆき
工藤 雅之准教授



上野 宏武さん



柳瀬 裕貴さん



森 智美さん



志久 舞さん

学生には自由な発想で制作させました。苦勞したようですが、自慢できる作品に仕上がりました。

手稲区区制20周年記念事業であるペットボトルのふたを利用して作られた「手稲山のモザイク画」は、北海道工業大学工学部情報デザイン学科工藤ゼミの4年生が手稲区に対する思いを込めて制作しました。

「初めはどうなるのだろうか？本当に私たちにできるのか？という不安で一杯でした」と話すリーダーの伊藤さん。「構図やデザインでは、山の遠近感が上手に表現できずに悩みました。作成中は日々、作ってはやり直しの連続でした」とメンバーがそれぞれ、作成時の苦勞を語ります。

「完成式の直前まで大丈夫だろうか、不安でいたたまれなかった。幕が引かれて歓声が上がったときには、ホッとするとともに、想像以上の出来栄えに自分たちも感動しました」と、その時の模様を熱く語ります。「このモザイク画はメンバーがデザインし、市民の皆さんがキャップを貼り付け、みんなが協力して作りました。今後1年間、北海道工業大学で飾られていますので、ぜひ皆さんにも見て欲しい」と話してくれました。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昨年は手稲区区制20周年を皆さまとお祝いすることができました。

今年も「ていねっていいね」と実感でき、「明日へはばたく手稲」の未来を皆さまとともに築いていきたいと思ひます。

皆さまのご多幸とご健康を心からお祈り申し上げます。

平成22年元旦

手稲区長

のほら ひとし
野原 仁